

哲學研究

第四十卷 第六册

第四百六十四號

昭和三十四年十月二十日發行

文化人類學についての學問論……………棚 瀬 襄 爾

學としての形而上學は可能か(承前)……………阿 部 正 雄

—カント「純粹理性批判」の窮極課題—

宗教寛容論の哲學的基礎……………岩 坪 紹 夫

—ベールの「事實の明證」について—

即自・對自の二元性をめぐって……………木 村 彰 吾

—サルトル哲學の一考察—

新着外國雜誌所載論文一覽

京 都 大 學 文 學 部 内

京 都 哲 學 會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
 - (一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委囑する
- 一、本會に賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年一、二二〇圓（會誌十二冊分を含む）を前納する
但し 二回又は三回に分納することもできる
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

本	武	松	蓮	野	西	長	土	棚	田	武	高	園	島	重	柿	大	臼	上	井	石	池	有
吉	藤	尾	實	田	谷	尾	岐	瀬	中	内	田	原	芳	澤	崎	峯	井	野	島	田	田	賀
良	一	義	重	又	啓	雅	邦	裏	知	義	三	太	芳	俊	祐	二	照	尚	夫	勉	仁	太
治	雄	海	康	夫	治	人	夫	爾	郎	範	郎	郎	郎	夫	郎	一	顯	尚	夫	勉	仁	祐

て、「存在と無」が即自・對自の織りなす一編のドラマであるといつたが、此のドラマは遂に「即自——對自」の綜合というハッピーエンドには終らなかつたのである。
(了)

(筆者 京都大學大學院文學研究科〔哲學〕博士課程學生)

告 白 文 論 號 次	
ベルグソンと習慣の問題……………三	輪 正
獨逸浪漫主義の生活原理(と)……………吉田忠勝	
——感情的主観性と想像力——	
學としての形而上學は可能か(完)阿部正雄	
——カント「純粹理性批判」の窮極課題——	

次 目 號 前	
<i>δηολογομενης επι της ετη</i> (完)……………鹿野治助	
——ストアの自然と自由——	
デイグナーガの知識論(完)……………服部正明	
カントに於ける“Transzendental-Philosophie”の理念について……………今津鶴雄	
日米の宗教學……………北川三夫	
稟 報	
新着外國雜誌所載論文一覽	

Weill-Brunschvicg, A.: *Ordre et désordre dans la matière cristallisée.*

Fouche, J.: *Le déterminisme peut-il prétendre à une description complète des phénomènes biologiques?*

REVUE PHILOSOPHIQUE DE LA FRANCE ET DE L'ÉTRANGER, No. 2, Avril-Juin, 1958.

Burloud, A.: *La pensée et les mécanismes mentaux.*

Minkowski, E.: *La vie des valeurs et des vertus vue à travers le langage.*

Schuhl, P.-M.: *Les puissances de l'imagination.*

Diel, P.: *La culpabilité.*

REVUE PHILOSOPHIQUE DE LA FRANCE ET DE L'ÉTRANGER, No 3, Juillet-Sept., 1958.

David, M.: *Action et Histoire.*

Francés, M.: *La liberté politique selon Spinoza.*

REVUE PHILOSOPHIQUE DE LA FRANCE ET DE L'ÉTRANGER, No. 4, Oct.-Déc., 1958.

Durkheim, É.: *L'État, présenté par R. Lenoir.*

Gurvitch, G.: *Le problème de la sociologie de la connaissance. (II)*

Gazeneuve, J.: *Les Zuñis dans l'oeuvre de Durkheim.*

會 告

本誌第四十卷第三冊(第四百六十一號)の發行日付は、本來昭和三十四年三月二十日とすべきところを編集上の都合により、昭和三十四年七月二十日と改めました。

なほ會費一ヶ年分(一、二二〇円)は、發行日付變更にかゝはらず、従來通り十二冊頒布をもつて清算致しますので、今年度の殘金は來年度にまはします。

京 都 哲 學 會

*

*

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會(振替口座京都四〇三九番 京都哲學會)宛に規定の會費(年一、二二〇圓又は半年六一〇圓)をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入、及び發賣に關する一切は東京都千代田區代官町二 創文社(振替口座東京九二四七二番創文社)宛に願ひます

一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい、(一年分又は半年分)會費は原則として本誌十二冊(又は六冊)の送附濟を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年(又は半年)毎に精算します

一、會員の轉居入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和三十四年十月十五日印刷
昭和三十四年十月二十日發行

編集人

京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内
編 集 代 表

發行人

久 保 井 理 津 男
東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二

印刷所

堀 内 文 治 郎
堀 内 印 刷 所
東 京 都 神 田 三 崎 町 二 一 六

發 行 所

株 式 會 社

創 文 社

東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二
振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番
電 話 丸 ノ 内 (23) 四 〇 〇 八 番

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御注文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい

一、本誌の御注文はすべて代金送料共(一部、定價二二〇圓、送料・八圓)前金にてお送り下さい

昭和
三十四
年十月
十五日
印刷
（每月
一行）

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XL

October, 1959

No. 6

Cultural Anthropology as a ScienceJoji Tanase

Whether is Metaphysics as "Wissenschaft" Possible? (II)

— *The Ultimate Problem of Kant's Critique of Pure Reason* —

..... Masao Abe

Fondements philosophiques de la tolérance religieuse

— *Sur l'«évidence du fait» de P. Bayle* —

..... Akio Iwatsubo

La dualité de l'en-soi du pour-soi chez SartreSyogo Kimura

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

IBM 6427

改正定価
二五〇円